

Principal Correspondence

長生きに必要なのは変化に順応することである

人生100年時代 このような言葉を聞きました
長生きに必要なのは 体力でも知力でもない
もっとも大切なのは 変化に順応する心構えだ
長生きした人は 決して頑固ではない
長く幸せに生きていこうと思ったら
世の中の流れと 自分の人生を調和させることだ
そして人の意見に耳を傾け 変なこだわりは捨てること

私は それは企業も同じであると思います
おかげさまで 学校法人リリー文化学園
リリーアカデミーグループは
2018年度創立70周年を迎えました
この70年の間 変化し続け
5万人を越える人と関わり
その人の成長に手を貸すことができました
これはこの上ない喜びであり 私たちの誇りです

リリーアカデミーの存在する究極の目的は
「利潤」ではなく 「永続性」です
私たちの教育理念や教育手法を
できるだけ時代を超えて
長く広く伝えていきたいと考えます
ですから創立理念は不変です

しかし教育目標や教育のメソッドは 独善的にならないように
そのためにときどき時代との調和を考えて見直しを行います
例えば今年度 リリーアカデミーでは20年ぶりに
幼児5部門の教育目標を大改定いたしました

創立者大久保久子女史は この言葉を理念として残しました
「教育とは愛である。教育とはアイデアである。」
そして職員のMOTTOは
「いつもあたたかく。いつもあたらしく。」
リリーはいつも時代の魁になって教育目標を見直し続け
教育手法を開発し続けていきたいと思ひます

Principal Correspondence

夏休みが近づいてきました。小学生に環境五か条！

下記五か条を守っただけで、2学期からお子さんは変わります。ぐっと落ち着きが増し、伸びてきます。しかしご家庭のご協力が必要です。



- ①睡眠を決まった時間にしっかり取る(低学年9時間・高学年8時間)。
午後10時以降に起きているのは絶対にやめましょう。睡眠をとるだけで、朝、自分で起きてきて、朗らかに優しくなり、脳がフル回転します(睡眠習慣は1週間目くらいから効果が出てきます)。

感情のイライラや、過度の固執性、攻撃性がなくなります。脳の記憶は睡眠中に定着するので、続ければIQなどは簡単に10~20上がるという説もあります。

- ②しっかり朝ご飯を食べる。乳酸菌をしっかり摂って免疫力をアップ。
③座学ではなく豊かな実体験。自然体験・文化体験・競争体験・運動体験・リーダーシップ体験などをする。感動が刺激をもたらし知能の器を伸ばします。夏はそのチャンス。
④夏休み中ルーズになりがちな生活習慣を一定にしっかりと維持する。

夏休みだから、のびのびとさせると言いますが、基本の「寝る」「食べる」の自己管理だけは一定にする。

- ⑤集団遊びの頻度を多くする。
異年齢の子どもの集団活動・リーダーシップ・できるだけルールや目的のある遊びを3人以上で行う。



9~10才の臨界期までは特に教育しなくとも普通の環境に置けば発達する能力がいろいろあります

逆にそういう環境が無いと一生身につかない(「音声言語」「音感」「運動神経」等々。もちろん良い環境に置けばもっと伸びます)。逆に「音声言語」と違い「文字言語」などは6年前に出来たものですから、自然に発達するように脳にインプットされていない為、ひとりでに覚えません。教育が必要です。ただし何歳からでも覚えられます。

私が最も少ないと危惧している「感情のコントロール能力(人間性知能H Qの一部)」を伸ばす機会です。

HQは点数などでは見えませんが、この能力が低いと「粘りが無い」「我慢できない」「目先の誘惑(甘い物、ゲーム、悪い誘いなど)に負けやすい」「友人との関係を良好に結べない」「リーダーになれない」などが結果として表れます。この能力も9~10歳の臨界期までが勝負と言われます。今の時代「話しかけられずに育つ子」や「音楽を一切聴かないで育つ子」や「駆け回る機会のない子」はいませんが「異年齢で群れて遊ぶ環境が極端に少ない」子はいます。育脳学童では社会の中で、数少ないその環境を提供しています。将来AIが発達して今ある職業は半分になるといわれますがこの「HQ能力」に関係する仕事は何時になっても廃れません。

子どもの季節、夏休みに子どもをしっかり伸ばしましょう。この五か条の①と②はご家庭で行う最も大事なことです。③④⑤条は育能学童でも提供します。

